入札公告の変更

令和４年２月１日
国立大学法人九州大学総長　石橋　達朗
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　40
○第 73 号
１　掲載日　令和３年11月11日（号外政府調達第211号）
２　変更内容　41ページ１段目、九州大学に係る「入札公告」第73号中、１の⑷中、「令和４年３月31日」を「令和４年５月31日」に、５の⑷中、「By 31 March, 2022」を「By 31 May, 2022」にそれぞれ変更します。

入札公告の訂正

次のとおり訂正します。
令和４年２月１日
契約担当役
独立行政法人労働者健康安全機構
総合せき損センター院長　前田　健
◎調達機関番号　621　◎所在地番号　40
１　掲載日　令和４年１月７日（号外政府調達第４号106頁）
２　訂正内容
３　入札書の提出場所等⑶「入札説明会の日時及び場所　令和４年２月６日14時　総合せき損センター（院内）会議室」を「入札説明会の日時及び場所　令和４年２月７日14時　総合せき損センター（院内）会議室」に訂正します。

入札公告の訂正

令和４年２月１日
契約責任者　日本郵便株式会社
調達部担当執行役員　上尾崎幸治
◎調達機関番号　431　◎所在地番号　13
１　掲載日　令和３年12月27日付（号外政府調達第242号・133ページ）
２　訂正内容　１⑹中「令和４年２月23日10時00分」を「令和４年２月24日10時00分」に、訂正します。

入札公告の取消

令和４年２月１日
契約担当役
国立大学法人筑波大学
財務担当副学長　勝野　頼彦
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　08
○第 28 号
令和３年11月26日付（号外政府調達第221号・36ページ）掲載の入札公告第28号「ビッグメモリスーパコンピュータシステム（割賦購入）　一式」を取り消します。

入 札 公 告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
令和４年２月１日
支出負担行為担当官
中部地方整備局長　堀田　治
◎調達機関番号　020　◎所在地番号　23
○第１号
１　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　令和４年度　設楽ダム左岸頂部掘削工事（電子入札対象案件）（電子契約対象案件）
⑶　工事場所　愛知県北設楽郡設楽町清崎地先
⑷　工事内容　道路土工　１式、法面工　１式
⑸　全体工期　契約締結日の翌日から令和６年２月28日まで（但し、令和４年７月15日までに工事の始期を設定すること）
工事を施工しない日　設計図書のとおり
工事を施工しない時間帯　設計図書のとおり
本工事は、受注者が全体工期内で工事の始期及び終期を任意に設定することができるフレックス工期を採用した工事である。
工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等を配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
⑹　使用する主要な資機材　コンクリート　約280㎥
⑺　本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
⑻　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式のうち、企業・技術者の能力等、品質確保のための体制、その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式（技術提案評価型Ｓ型）の試行工事である。
なお、上記取り組みの詳細については、国土交通省中部地方整備局　ホームページアドレス：
https://www.cbr.mlit.go.jp/
「整備局トップ」―「入札・契約情報」―「工事」―「総合評価運用ガイドライン等（工事関係）」に記載されているとおりである。
⑼　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の対象工事である。
⑽　本工事は、入札書及び技術提案書等の同時提出を行う工事である。
⑾　本工事は、賃上げを実施する企業に対して総合評価における加点を行う工事である。
⑿　本工事は、施工手順の工夫等の創意工夫による生産性向上の取り組みを推進する「生産性向上チャレンジ」の試行対象工事である。
⒀　本工事は、国土交通省が提唱するｉ-Constructionに基づき、ＩＣＴ技術の全面的活用を図るため、起工測量、設計図書の照査、施工、出来形管理、検査及び工事完成図や施工管理の記録及び関係書類について３次元データを活用するＩＣＴ活用工事（ＩＣＴ土工）である。
但し、砂防工事など施工現場の環境条件により、ＩＣＴ建設機械による施工が困難となる場合は従来型建設機械による施工を実施してもＩＣＴ活用工事とする。
⒁　本工事は、完全週休２日を確保した施工を実施する試行の対象工事である。完全週休２日を確保出来た場合に工事成績評定点において評価する。
また、本工事の完成時に、完全週休２日取組認定証が発行された場合、中部地方整備局で発注される総合評価の評価項目において加点対象とする工事である。
なお、完全週休２日取組認定証は、対象期間中の全週間数に対して、休日対象日を現場閉所とした週間数の割合が70％を超えた場合に発行する。また、提出された工程表が週休２日の取得を前提としていないなど、明らかに、受注者側に週休２日に取り組む姿勢が見られなかった場合については、内容に応じて、工事成績評定実施要領の別紙様式第１における考査項目「７．法令遵守等」の「８．その他」の項目において、点数を減ずる措置を行うものとする。
⒂　本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を行う試行工事である。
⒃　本工事は、「施工プロセスを通じた検査の試行について（平成22年３月29日付け大臣官房地方課長、技術調査課長）」による「施工プロセスを通じた検査」の試行対象工事である。
本工事においては、工事施工中、品質検査員による工事実施状況、出来形及び品質について確認を行うこととし、その結果を踏まえて既済部分検査及び完成検査（完成技術検査を含む）を行うこととする。また、支払い条件は「出来高部分払方式」を採用する。
⒄　本工事は、資料の提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。なお、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えることができる。
⒅　本工事は、段階的選抜方式における一次審査に係る申請書（以下「申請書」という。）及び段階的選抜方式における一次審査に係る確認資料（以下「確認資料」という。）を提出した者のうち、一次審査の審査評価点合計が上位の者（以下「一次選抜者」という。）以外の競争参加者による入札を無効とする段階的選抜方式の工事である。
一次選抜者は、一次審査の審査評価点合計が上位10者（審査評価点合計が同じ者が複数いる場合は、そのすべての者を含む。）とする。ただし、一次審査の審査評価対象者が10者を超える場合は、10者を超えた者のうち上位半数（小数が発生した場合は小数第１位を切上）の者（審査評価点合計が同じ者が複数いる場合は、そのすべての者を含む。）を加えることとし、15者を上限とする。